

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

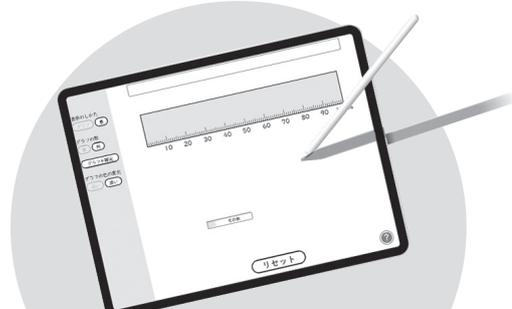
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-146	小学校	算数科	算数	5年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 520	わくわく 算数5		

1 編修の基本方針

私たちが目指したのは、子どもたちが「主体的・対話的で深い算数の学び」を通して、将来の予測が困難といわれる未来の社会を生き抜いていく力を身につけることです。そのため、「1人1台端末を有効に活用」しながら、自身や友だちとの対話による深い学びや、個別最適な学びが実現できるようにしています。さらにそれらを通して、国際的な学力調査(PISA、TIMSSなど)で課題とされる「学習意欲面の向上」にも繋げています。



子どもたちが未来を生き抜いていく
基礎となる資質・能力を培う



1人1台端末を有効活用した
新時代の学習スタイルを構築する

1

生活していく上で、
基礎・基本となる数学的な知識・
技能が習得できる

2

筋道を立てて考える能力を育て、
ものごとを合理的に処理する
思考力・判断力・表現力等が
育成できる

3

新しいものごとを理解し
創造する能力を育て、
学びに向かう力・人間性等が
涵養できる

1

問題解決や基礎・基本の定着など、
さまざまな場面でICTを利活用して
学ぶことができる

2

リアルとデジタルのよさをいかし、
協働的な学びと個別最適な学び
を実現することができる

3

家庭学習などの自学の場面で、
自律的に学習を進めることが
できる

数学的な
見方・考え方

「数学的な見方・考え方を働かせる」ことを
軸として展開しています。

QRコンテンツ

学習に効果的なコンテンツを各紙面の
QRコードからご利用いただけます。

*QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



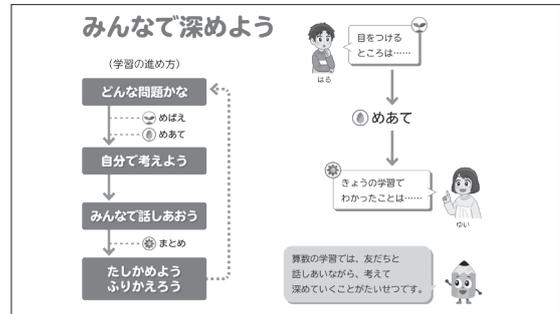
「主体的・対話的で深い算数の学び」を実現する

① 児童の問いから始まる学びの入口 ～ 『めばえ』から『めあて』、そして『まとめ』へ

● 児童が主体となって学べるようにしています

児童自らの問いや気づきを『めばえ』として掲載し、児童から『めあて』を引き出す授業展開ができるよう構成しています。

-  **めばえ** … 『めあて』に繋がる児童の問いや気づき
-  **めあて** … 児童から引き出した本時のねらい
-  **まとめ** … 本時で学習したことのまとめ



>>> p.4『算数の学習の進め方』

② 数学的な見方・考え方を軸とした学習展開 ～ 対話的な学びで深めたいポイントの見える化

● 数学的な見方・考え方を強調して示しています

問題把握から解決までのプロセスで児童が働かせる 数学的な見方・考え方を例示するとともに、マーカーを付して強調しています。学びあいて深めたいポイントを見える化し、対話的な学びが充実するようにしています。

● 学びの繋がりを重視しています

巻頭『算数で使いたい 考えの進め方』では、前学年の学習における数学的な見方・考え方を整理し、ふり返ることができるようにしています。

また、巻末『学びをつなげよう』では、これまでに学習した内容をふり返るとともに、この本で学ぶこととの繋がりを知ることができます。

>>> p.6『算数の学習の進め方』

③ 活用・探究に向かう学びの出口 ～ たしかめよう・ぶりかえろう・やってみよう

● 学んだことをふり返し、いかしていけるようにしています

児童自らが単元全体の学習をふり返し、それを活用したり、深めたりする活動を通して、主体的に学習に取り組む態度を育むとともに、価値づけることができるようにしています。

たしかめよう

知識・技能と思考力・判断力・表現力等に関する自己評価と学び直し

ぶりかえろう

学習に取り組む態度を育むとともに、価値づけるための単元全体のふり返し

やってみよう

『ぶりかえろう』での省察をいかし、学びをさらに深める活動

>>> p.28-29『学びのまとめ』(単元の出口)

未来を生き抜く基礎となる力を培い、 新時代の学習スタイルを構築する

① 生活をしていく上で基礎・基本となる数学的な知識・技能が習得できる。

●既習事項を活用して新たな知識・技能の習得を図ります

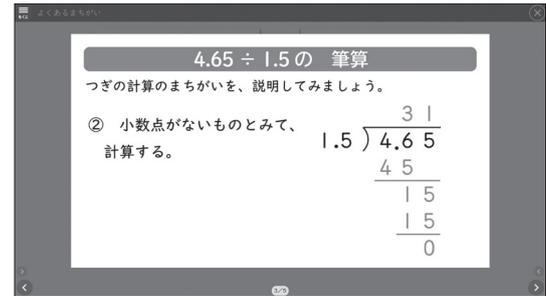
各単元には『とびらページ』を設け、既習事項や身のまわりの事柄から新しい学習へ入っていきけるようにしています。また、ほぼすべての単元にレディネス・チェックとしてご利用いただけるQRコンテンツ（巻末『じゅんび』の問題）を用意しています。

●QRコンテンツでつまづきを解消します

全国学力・学習状況調査等での結果や現場の先生方のお声を踏まえ、児童がつまづきやすいとされる内容にはQRコンテンツを配置して、確かな理解が図れるようにしています。

●QRコンテンツで自学をサポートします

『練習』や『復習』などの既習事項の定着を図るコーナーには、問題演習ができるQRコンテンツを用意し、ヒントや答えを確認しながら自学で取り組めるようにしています。また、主たる問題(■マークの問題)のすべてで解説動画が視聴できるようにし、自学をサポートします。



>>> p.60『よくあるまちがいを』QRコンテンツ



指導計画の中で反復による定着が必要な単元には『練習』ページを設定しています。また、年間を通して基礎・基本の定着が図れるように、学期の途中と期末に『復習』ページを設定しています。



② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する思考力・判断力・表現力等が育成できる。

●数学的な見方・考え方を明確化し、筋道を立てて考える能力を育みます

各単元の『とびらページ』や『じゅんび』で既習事項の定着を図るとともに、これまでに学んだことを踏まえて児童自らが数学的な見方・考え方を働かせ、解決の見通しを立てたり、筋道を立てて解決の方法を考えたりすることができるように構成しています。

学習内容の系統の中に数学的な見方・考え方を位置づけ、発展的・統合的に考えることができるようにしています。



正三角形は、3つの角の大きさがすべて等しいから、 $180^\circ \div \square = \square^\circ$

三角形の角の大きさを求めるときは、三角形のどくちようにも目をつけるといいんだね。



>>> p.87(正三角形の角の大きさ)

●数学的活動をより豊かにする特設単元を設け、思考力・判断力・表現力等を一層育みます

図や表を使って考えたり、説明したりする数学的活動を主とした特設単元を系統的に位置づけ、協働的な学びの活性化と思考力等の育成をより一層図れるようにしています。

歩いた時間 (分)	0	1	2		
あやさんの歩いた道のり (m)	0	70	140		
お姉さんの歩いた道のり (m)	0	80	160		
2人あわせた道のり (m)	0	150	300		1200

2人あわせて1200m歩くと出会えるね。



2人あわせた道のりの変わり方のきまりに目をつけて考えました。



>>> p.240『見方・考え方を深めよう(3)』

③ 新しいものごとを理解し創造する能力を育て、学びに向かう力・人間性等が涵養できる。

●「やってみよう」という児童の意欲を支援します

児童の問いから学びが始まるようにするとともに、単元の出口では、学習全体をふり返って児童自らが大切だと感じたことを明文化する場面(ふりかえろう)を設け、さらにそれを活用する活動(やってみよう)を例示しています。教科書全体で児童が学び続けるための視座を提示し、学びに向かう力・人間性等が涵養できるようにしています。

●QRコンテンツでも創造性を育みます

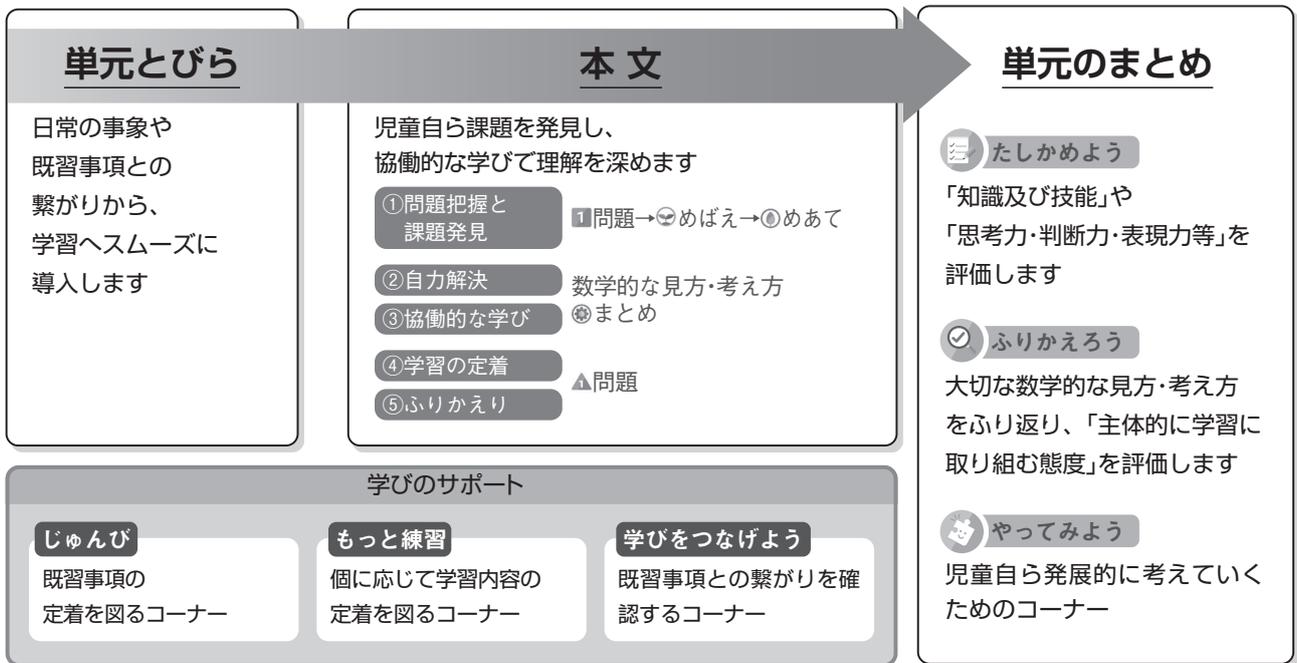
プログラミング的思考を育むとともに、算数の理解を深める『わくわくプログラミング』(p.242~243)では、いろいろな考えを何度でも簡単に試し、児童が創造的に取り組むことができるプログラミングのQRコンテンツを用意しています。

QRコンテンツとして、
・Scratch
・教科書オリジナル
の2種を用意しています。



>>> p.242-243『わくわくプログラミング』

単元の流れ



主たる問題として掲載した1マークのすべての問題で、その解説動画を視聴することが可能です。



2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 ●もくじ ●教科書の使い方 ●学習の進め方	▶『もくじ』や『学びをつなげよう』では既習事項との繋がりを示しています。また、『教科書の使い方』や『学習の進め方』では、 主体的に取り組み、理解を確かなものにする態度が養える ようにしています。(第1号)	表紙裏-p.9、 276-279
単元 ●単元とびら ●本文 ●単元のまとめ	▶学習の導入で日常の事象を取り上げたり、学習したことを生活で活用する場面を設けたりして、 生活と関連づけて学習に取り組める ようにしています。(第2号)	p.10、30、102、 206 など
	▶課題発見となる吹き出しに『めばえ』マークをつけ、問題解決の過程に自分で考える場面や自分の考えを発表する場面を位置づけることで、 児童自らが課題を発見し、真理を求める態度が養える ようにしています。(第1号)	全体
	▶問題解決の過程に話しあいの場面を位置づけ、 協働的に学びを深めていける ようにするとともに、自他の敬愛と協力を重んじられるよう、性別や国籍等による役割を固定せず、 一人ひとりが自他を尊重し、互いに協力して学ぶことができる ようにしています。(第3号)	全体
	▶中学校数学との繋がりを踏まえて 発展的・統合的な事柄 を『算数ポケット』などで適宜取り上げ、 幅広い知識と教養が身につけられる ようにしています。(第1号)	p.125、139、179、 239 など
	▶宅配便や測量、ペットボトルのキャップ集めに関する題材などを取り上げ、 職業との関連に気づき、勤労を重んずる態度や社会の形成に参画する態度が養える ようにしています。(第2・3号)	p.16、153、161 など
	▶地産地消の題材や『わくわくSDGs』の学習を通して、 環境の保全に寄与する態度が養える ようにしています。(第4号)	p.208-209、 244-247
▶鹿苑寺の金閣や小麦などの食料の産出国の題材を取り上げ、 我が国の伝統と文化や他国を尊重する態度が養える ようにしています。(第5号)	p.96-97、210-211 など	
▶児童の興味・関心に応じたふり返りと発展課題を通して、 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性が培える ようにしています。(第2号)	p.15、215 など	
巻末 ●学びのサポート	▶巻末には 自らの学習を調整しながら学べるコーナー を設け、 自主及び自律の精神を養える ようにしています。(第2号)	p.253-280

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

ユニバーサルデザインへの
取り組み

- デザインにおいては、**個人差を問わず、必要な情報が正確に伝わるように配慮**しています。
- 書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、**配色は色覚の特性によらず学びやすいもの**となるようにMUD協会の検証を受けています。

特別支援教育への配慮

- 文章の改行を**すべて文節で行う**ことで、読みやすくしています。
- 特別支援教育の専門家の監修のもと、**すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくり**を目指し、**共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育(共育)**に配慮しています。

道徳教育との
関連、人権・ジェンダー・
福祉への配慮

- 話しあいを通して学びを深めていく場面を設けるとともに、**他者の考えを尊重したり、他者の考えを踏まえて自分の考えを見直したりすることができる**ように配慮しています。
- 子どもの写真やイラストにおいては、**性別や国籍などによって役割を固定しない、服の色といった固定的なイメージで性別を区別しない**など、**性別・人種などに配慮し、互いに協力しながら活動できる**ようにしています。

ご指導経験の
浅い先生への配慮

- 『めあて』と『まとめ』を掲載して学習のねらいや展開をわかりやすく示すとともに、**「数学的な見方・考え方」を明確化し、価値づけるポイントがはっきりとわかる**ようにしています。
- 教師用指導書を発刊し、**日々の教材準備や個別的な指導を行いやすくする**など、よりよい授業を効率的に行っていくための支援をします。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-146	小学校	算数科	算数	5年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
61 啓林館	算数 520	わくわく 算数5		

1 編修上特に意を用いた点や特色

数学的な見方・考え方を価値づけ、 主体的・対話的で深い学びを実現する

「数学的な見方・考え方」は、問題把握から解決までのすべてのプロセスにおいて児童の内面で働くものと考えられます。授業においては、児童が何に着目し、どのように考えているかという「数学的な見方・考え方」を価値づけることによって「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すことが大切です。

① 前学年で働かせた「数学的な見方・考え方」を整理し、確認できるようにしています

巻頭「考えの進め方」では、前学年で取り組んだ問題解決のプロセスに照らして「数学的な見方・考え方」を整理して掲載しています。

本学年においても、既習事項との繋がりをもとにして「数学的な見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようにしています。



巻末には、これまでに学習したことをいつでも確認できるコーナー「学びをつなげよう」があります。これまでの学習と本学年の学習の繋がりも示しています。

算数で使いたい
考えの進め方
4年の学びをふりかえってみよう
学びをつなげよう 276 ページ

図を使って考える
□倍
赤 → 黄
 $2 \times \square = 12$

図に表すと、
どんな式になるのか
わかりやすいね。

わけをはっきりさせる
読んだ本の冊数
75
50
25
0
4月 5月 6月 7月

線のかたむきが急だから、
いちばん変わり方が
大きいのは5月から6月の
間です。

>>> p.9「考えの進め方」

② 「数学的な見方・考え方」を明確化し、価値づけられるようにしています

既習事項をもとに児童自ら「問いや気づき」を持ち、主体的に学習を進めていけるようにするとともに、児童が「数学的な見方・考え方」を働かせている様子にはマーカーを付して強調しています。

数量の関係をもとにした
数学的な見方・考え方

>>> p.53 (小数のわり算の立式)

めあて $96 \div 2.4$ の式になるわけを説明しよう。

ねだん(円) 96
長さ(m) 0 1 2 2.4 3

1m 2.4倍 2.4m
□円 96円

ねだんは長さ按比例するから、
長さが2.4倍になると、
ねだんも2.4倍になると思います。

□円の2.4倍が96円だから、
式は $96 \div 2.4$ だね。

$96 \div 2.4$ は、1にあたる大きさを
求める式だね。

③ 「数学的な見方・考え方」を児童自ら価値づけ、いかしていけるようにしています

単元の出口では、単元全体を通して児童1人ひとりが大切だと感じた「数学的な見方・考え方」をふり返る場面(ふりかえろう)と、さらにそれをいかして取り組む場面(やってみよう)を設定しています。

学年の特色、つまずきの多い箇所への対応

2年生からは、既習事項を確認して新しい学習へと向かうスパイラルの構成で学びやすくするとともに、『復習』や『練習』のコーナーを適切に設けて確かな理解の定着が図れるようにしています。高学年では、小学校と中学校の円滑な接続が図れるよう配慮し、『数学へのとびら』で中学校数学との繋がりを示しています。

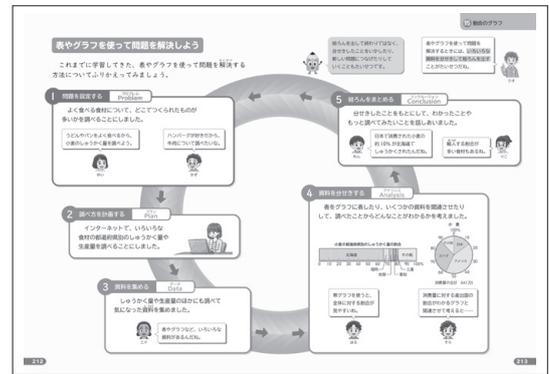
① 系統性を踏まえて、「割合」を丁寧に展開しています

算数の中で習得・活用が困難だといわれる内容に「割合」があり、特に5年生で学習する「小数の乗除」となる場面が課題とされています。そこで5年生では、『割合(1)』『割合(2)』『割合のグラフ』と単元を分割して配置し、年間を通して「割合」の意味や用法の定着が図れるよう配慮しています。

② 児童の未来を見据えて、学んだことが生きて働くものとなるように展開しています

児童の未来を見据えたとき、特に重要となる内容に「統計」があります。知識としてだけではなく、生きて働くものとなるよう統計的な問題解決の方法(PPDAC)に沿って学習を繰り返す場面を設けています。

ここで学んだ統計的な問題解決の方法を、『わくわくSDGs』のコーナーでいかすことができるようにしています。



>>> p.212-213 『表やグラフを使って問題を解決しよう』

学びをいかそう『わくわくSDGs』

エネルギーをたいせつに
使おうプロジェクト

>>> p.244-247

学年の最後に、SDGsの達成に向けて自分たちに何ができるかを考えるコーナー『わくわくSDGs』を設けています。5年生では、「エネルギーの問題」をテーマに展開しています。

1. 問題を見つける

エネルギーを使いすぎているかな？

日本で消費されたエネルギーの量は1990年と2020年を比べると、全体では減っているけれど、家庭では増えているんだよ。

2. 調べる考える

●家庭のげんべん別消費エネルギー量の割合

年度	電力	都市ガス	石油	その他
1990年度	~60%	~30%	~10%	~1%
2005年度	~65%	~25%	~10%	~1%
2020年度	~70%	~20%	~10%	~1%

3. 話し合う

家庭で使う電力量をさらに減らせるといいね。

部屋の電気をこまめに消すようにしよう。

ほかにも電力を使いすぎているときはあるかな。

4. 深める広げる

みんなのSDGs

家庭での省エネの取り組み

エネルギーを節約することを省エネといいます。大抵府では、かんきょうにやさしい生活を送るために生活を見直すきっかけとなる、かんきょう家計ばいというツールが用意されています。これを使うと、家庭でのエネルギー使用量を減らすための、自分にあった目標を立てられます。

SDGs ポータルサイト

みんなで考える みんなの未来

10 気候変動(気候)

11 持続可能な都市とコミュニティ

12 つくばない消費

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正

17 パートナーシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsって何？

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されます。地球上の人々がだれ一人として取り残されることなく、安心して暮らしていけることができるように、さまざまな問題を解決するために設けられた具体的な目標をいいます。

かわいい内容を見る

観点別特色

観点	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教育基本法及び学習指導要領の遵守	▶教育基本法第二条「教育の目標」を踏まえた編集方針としています。	全体
	▶教育基本法第四条「教育の機会均等」の通り、すべての児童がひとしく教育を受ける機会が得られるよう、書体や配色、レイアウトにユニバーサルデザインを取り入れ、また、解説動画を含む多数のQRコンテンツを用意しています。	全体
	▶数学的活動に児童1人ひとりが主体的に取り組めるよう、また、協力して取り組む活動や考えを伝えあう活動を通して協働的に学習を進められるよう、児童の発言や活動の様子を数多く例示しています。	全体
主体的・対話的で深い学び	▶児童自らの「問いや気づき」を『めばえ』として掲載し、児童から『めあて』を引き出せるよう展開しています。また、児童らの考えや発言を例示し、伝えあう活動を通して『まとめ』が生まれるよう展開しています。	全体
	▶学習を積み重ねることによって学びが一層深まるよう、学びのつながりを重視し、軸となる「数学的な見方・考え方」にマーカーを付して強調しています。	全体
数学的な見方・考え方	▶巻頭「考えの進め方」で前学年の学習における「数学的な見方・考え方」を整理して、本学年の学習にいかすことができるようにしています。	p.9
	▶単元の入口で既習事項に触れ『これから学習することのめあて』を例示することで、統合的・発展的に考えを進めていけるようにしています。	p.10、52、114、194 など
	▶単元末の『ふりかえろう』で単元全体をふり返り、大切だと思ったことを明文化することで「数学的な見方・考え方」を児童自らが価値づけることができるようにしています。	p.15、67、131、205 など
知識及び技能の習得	▶各単元に『じゅんび』を設定し既習事項を確認できるようにすることで、新たな学習の基礎的な知識・技能がスムーズに習得できるようにしています。	p.254-257
	▶各種学力調査や先生方のお声を踏まえ、児童が「つまずきやすいとされる内容」には、どこで間違えたかがわかる解説スライドやくり返し学習ができる練習問題などのQRコンテンツを用意しています。	p.40、42、58、60、79 など
	▶『復習』や『練習』のコーナーを適切に設けて、確かな理解の定着が図れるようにしています。	p.43、50-51、63、151 など
思考力・判断力・表現力等の育成	▶対話的な学びの中で、わかったことを表現したり、よりよい方法を考えたりする活動を適宜例示し、思考力や表現力が育めるようにしています。	p.5-7、22-23、36-37、137 など
	▶既習事項をいかす場面では、見通しを立てたり、根拠を持って考えを進めたりする様子を例示し、思考力や判断力が育めるようにしています。	p.11、26、41、58、88-89 など
	▶思考力・判断力・表現力等を日常生活にいかし一層伸ばしていくことができるよう、『学びをいかそう』のコーナーを適宜設けています。	p.25、96-97、190-191 など
学びに向かう力・人間性等の涵養	▶児童が興味・関心を持って学習に向かうことができるよう、身のまわりの事柄や既習事項から算数の学習へと入っていけるようにしています。	p.16、30、102、134-135 など
	▶単元末の『やってみよう』では、児童が大切だと思ったことを生かす活動を例示し、学んだことを生かそうとする態度を育めるようにしています。	p.15、67、113、205 など
	▶『学びをいかそう』では、日常の場面で算数を活用する課題を取り上げ、算数の有用性を感じ学び続けようとする態度を育めるようにしています。	p.25、96-97、190-191 など
評価	▶単元末の『たしかめよう』を、知識・技能や思考力・表現力・判断力の評価に繋がられるよう構成しています。	p.14、66、112、204 など
	▶単元末の『ふりかえろう』『やってみよう』を、主体的に学習に取り組む態度の評価に繋がられるよう構成しています。	p.15、67、113、205 など
内容、配列、分量	▶学びの繋がりを重視したスパイラルの構成で学びやすくしています。	全体
	▶年間配当時数は161時間とし、標準時数(175時間)よりも余裕を持たせた分量で構成しています。	全体

観点	特に意を用いた点や特色	該当箇所
学習方法・展開の工夫	▶『めばえ』から『めあて』、そして、『まとめ』へと続く展開で、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう構成しています。なお、『めあて』と『まとめ』はほぼすべての時間で例示しています。	p.4-7, 39, 57, 152-153, 183 など
	▶高学年では自立的な学びを促せるよう配慮し、学習内容を1冊にまとめています。また、学力の保障・向上となるよう巻末『学びをつなげよう』で4年生までの内容がふり返られるようにしています。	全体
1人1台端末環境への対応	▶問題解決にICTを活用できるよう、シミュレーションのQRコンテンツを用意しています。「面積の求め方」では、具体物の操作では時間のかかる創造的な活動も簡単に行えるようにしています。	p.22, 29, 39, 107, 147, 179, 220 など
	▶『わくわくプログラミング』では、プログラミング体験を通して図形の見方・考え方を深めることができるようにしています。プログラミング的思考としては、順次処理、反復処理を学ぶことができます。	p.242-243
	▶児童の書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書(有料)を発刊します。	全体
個別最適な学びへの配慮	▶動画やフラッシュ問題などのQRコンテンツを数多く用意し、児童1人ひとりの実態にあった最適な学びが実現できるよう配慮しています。	p.16, 41, 83, 125, 195 など
	▶自学で取り組めるフラッシュ問題のQRコンテンツは、児童が必要と感じたときに解決のヒントを確認できるようにしています。	p.14, 27, 50-51, 100-101 など
	▶巻末の『もっと練習』では、基本問題と挑戦問題を掲載し、個に応じた学び(習熟度別学習)に対応できるようにしています。	p.258-270
協働的な学びへの配慮	▶児童1人ひとりの「問いや気づき」を共有するとともに、みんなと一緒に考えて協働的に学習を進めていくことができるようにしています。	全体
	▶多様な考え方を取り上げた場面では、考えを伝えあう活動の中で「数学的な見方・考え方」を働かせて深めていくことができるようにしています。	p.22-23, 36-37, 90-91, 140-141 など
学びのつながり	▶学びのつながりを感じながら進められるよう、巻頭の『もくじ』や巻末の『学びをつなげよう』で、既習事項学習との繋がりを示しています。	もくじ、 p.276-279
	▶4年生までの学習や中学校数学との繋がりに配慮し、「割合」や「データの活用」の系統に位置づく内容を丁寧に展開しています。	p.68-75, 128-129, 174-187, 206-215
教科担任制への配慮	▶単元末の『やってみよう』で探究的な課題を取り上げたり、『数学へのとびら』で適宜中学校数学との繋がりを示したりして、指導のねらいに応じて学びを深められる場面を用意しています。	p.29, 93, 113, 205 など
他教科との関連(カリキュラム・マネジメント)	▶社会科との関連として、様々な資料や調査による情報を適切にまとめる技能の習得に配慮し、人口密度や農作物などの資料を取り上げています。	p.170, 206-213 など
	▶道徳科との関連として、自分と異なる意見や立場を尊重することなどに配慮し、互いに協力しながら活動できるようにしています。	p.4-7, 22-23, 36-37, 90-91 など
持続可能な開発目標(SDGs)、環境教育	▶燃費に関する問題を取り上げたり、エネルギーを大切に使うために自分たちにできることを考える『わくわくSDGs』のコーナーを設けたりして、環境の保全、福祉や社会形成に寄与する態度が育めるよう配慮しています。	p.170, 244-247 など
	▶防災マップを取り上げ、防災・減災の意識を持てるよう配慮しています。	p.165
衛生、感染症対策	▶教科書制作において感染症対策を徹底するとともに、教科書ご利用の際の留意点を巻頭に掲載しています。	もくじ
臨時休校等への配慮、学校外での学習活動	▶主たる問題(1の問題)のすべてに解説動画を用意し、臨時休校等においても学びが途絶えることのないよう配慮しています。	全体
	▶既習事項の定着や確認を図るQRコンテンツを配し、学校外での学習活動においてもヒントや答えを確認しながら自学で取り組めるよう配慮しています。	p.14, 27, 50-51, 100-101 など
用紙、印刷、製本	▶用紙には、軽くて印刷が鮮明な再生紙を採用しています。印刷には、植物油インキを使用し、環境やアレルギーにも配慮しています。	全体
	▶製本は、開きやすいことや紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすいことに配慮し、「あじろ綴じ」製本を採用しています。	全体
	▶学習において操作活動が有効な場面で、教材準備に時間や特別な配慮を要するものには、巻末に切り取り教具を用意しています。	p.281

2 対照表

単元名	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数	配当月
★算数のとびら	第3-2-(1) (高め合うための協働的な学び方)	p.4-9	1	
①整数と小数	A(2) ア(ア) イ(ア)	p.10-15	4	4月
②体積	B(4) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.16-29	9	
③比例	C(1) ア(ア) イ(ア)	p.30-33	2	
④小数のかけ算	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.34-49	11	5月
・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.50-51	1	
⑤小数のわり算	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) A(6) ア(ア) イ(ア)	p.52-67	12	6月
⑥割合 (1)	A(6) ア(ア) イ(ア) C(3) ア(ア) イ(ア)	p.68-75	4	
⑦合同な図形	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア) 内(2)	p.76-93	11	
●見方・考え方を深めよう (1)	第3-2-(1) (図を用いた思考・判断・表現)	p.94-95	2	
●どんな計算になるのかな	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.96-97	1	7月
●算数の自由研究	第3-3-(2) (数学的活動を楽しむ機会)	p.98-99	1	
・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.100-101	1	
⑧整数	A(1) ア(ア)(イ) イ(ア) 内(1)	p.102-113	10	9月
⑨分数	A(4) ア(ア)(イ)(ウ)(エ) イ(ア)(イ) A(5) ア(ア) イ(ア)	p.114-131	13	
・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.132-133	1	10月
⑩面積	B(3) ア(ア) イ(ア) C(1) ア(ア) イ(ア)	p.134-156	14	
⑪平均とその利用	D(2) ア(ア) イ(ア)	p.157-165	6	
⑫単位量あたりの大きさ	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.166-171	4	11月
●見方・考え方を深めよう (2)	第3-2-(1) (図を用いた思考・判断・表現)	p.172-173	2	
⑬割合 (2)	C(3) ア(ア)(イ) イ(ア) 内(4)	p.174-187	11	
●人文字	第3-2-(1) (図を用いた思考・判断・表現)	p.188-189	1	12月
●見積もりを使って	第3-2-(6) (目的に応じた結果の見積もり)	p.190-191	1	
・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.192-193	1	
⑭円と正多角形	B(1) ア(ウ)(エ) イ(ア) C(1) ア(ア) イ(ア) 内(3)	p.194-205	8	1月
⑮割合のグラフ	D(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.206-215	6	
・復習	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.216-217	1	
⑯角柱と円柱	B(2) ア(ア) イ(ア)	p.218-225	6	2月
⑰速さ	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.226-233	6	
⑱変わり方	A(6) ア(ア) イ(ア) C(1) ア(ア) イ(ア)	p.234-239	3	
●見方・考え方を深めよう (3)	C(1) ア(ア) イ(ア) C(2) ア(ア) イ(ア)	p.240-241	2	
●わくわくプログラミング	B(1) ア(イ) イ(ア) 第3-2-(2) (プログラミング体験)	p.242-243	1	3月
●わくわく SDGs	C(3) ア(イ) イ(ア) D(1) ア(イ) イ(ア) 内(5)	p.244-247	1	
・もうすぐ6年生	第3-1-(2) (次学年への円滑な接続)	p.248-252	3	
★学びのサポート	第3-1-(2) (基礎的な能力の習熟・維持)	p.253-282	—	—
		配当時数	161	
		予備時数	14	

記号の意味 ●…活用・問題解決のページ、★…特設ページ、内…内容の取扱い、第3…指導計画の作成と内容の取扱い

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-146	小学校	算数科	算数	5年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 520	わくわく 算数5		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
113	学びをいかそう やってみよう	1	A(1) ア(イ) イ(ア) (約数及び観点を決めて整数を類別する仕方を考えることに関連して、素数の用語を扱います。)	0.75
239	算数ポケット 多角形の角の大きさ の和	1	C(1) イ(ア) (伴って変わる2つの数量の関係を調べる学習に関連して、多角形の頂点の数と内角の和の関係を表す式を扱います。)	0.75
合 計				1.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容